

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社サニックス
2019年11月14日

1. 2020年3月期 第2四半期 決算概況 P.3

2. 2020年3月期 通期業績見通し P.15

【免責事項】

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定買取制度」の動向および当該制度に関わる電力会社の動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

(注)

- ・ 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益の”△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
- ・ 比率がマイナスあるいは1000%を超える値の場合「-」で表示しております。

2020年3月期 第2四半期 決算概況

2020年3月期 第2四半期 連結決算概況

(単位：百万円)

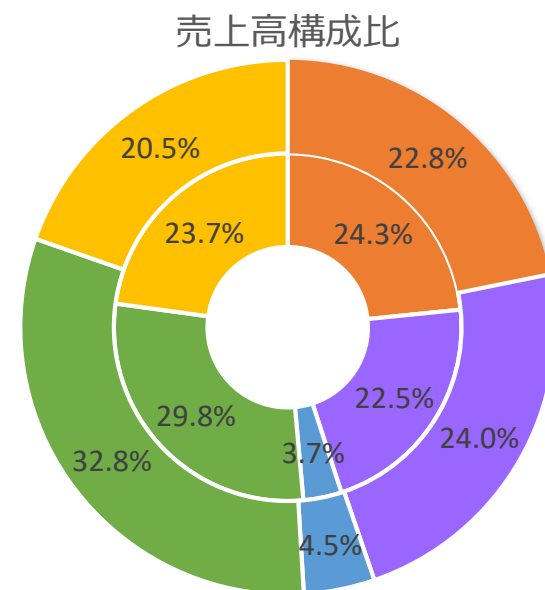
	2019/3期	2020/3期				
	2Q実績	2Q実績	前年同期比	前年同期差異	計画	計画差異
売上高	24,447	24,538	100.4%	+ 91	24,464	+ 74
売上総利益 (売上高売上総利益率)	7,503 30.7%	8,863 36.1%	118.1%	+ 1,359	8,559 35.0%	+ 304
営業利益 (売上高営業利益率)	688 2.8%	1,551 6.3%	225.4%	+ 863	988 4.0%	+ 563
経常利益 (売上高経常利益率)	689 2.8%	1,429 5.8%	207.4%	+ 740	935 3.8%	+ 494
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	194 0.8%	1,140 4.6%	587.2%	+ 946	745 3.0%	+ 395

- 売上高** 前中期経営計画において人員等経営資源の配分を見直し事業規模の拡大を進めたことが寄与し、H S事業部門、E S事業部門はそれぞれ増収となったほか、廃プラスチックの受入物件の精査により環境資源開発事業部門が増収となりました。一方で、S E事業部門はF I T価格の低下にあわせた太陽光発電システムの販売価格見直しにより、またエネルギー事業部門は主に高圧供給先件数の減少等によりそれぞれ減収となりました。この結果、グループ全体の売上高は24,538百万円（前年同期比0.4%増）となりました。
- 利益** E S事業部門、及び環境資源開発事業部門は増収を背景に、またS E事業部門は減収となったものの材料費等のコスト削減により増益となりました。この結果、グループ全体の損益は、1,551百万円の営業利益（前年同期比125.4%増）、1,429百万円の経常利益（前年同期比107.4%増）、1,140百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比487.2%増）となりました。

2020年3月期 第2四半期 セグメント別損益実績

(単位：百万円)

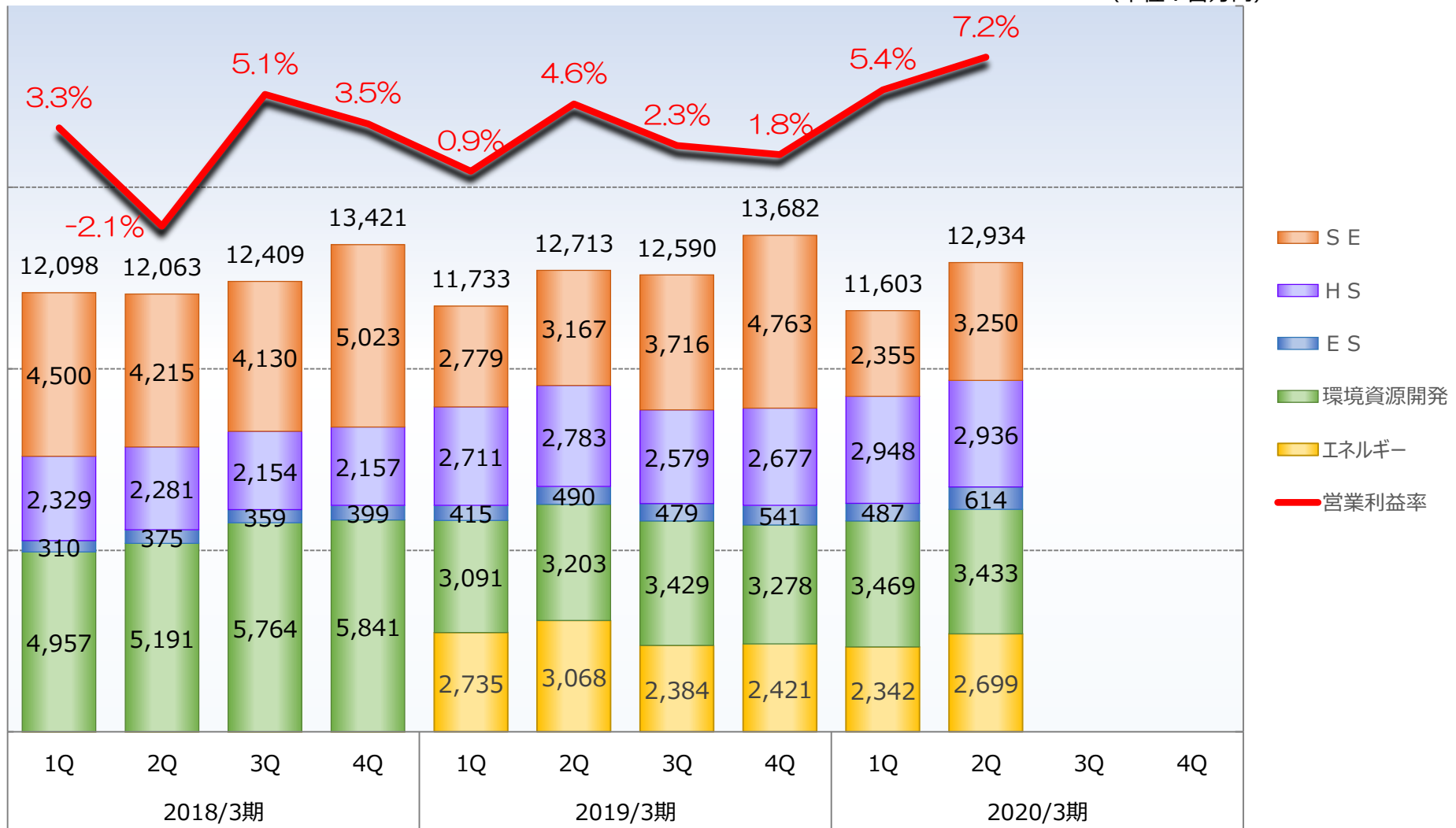
	2019/3期	2020/3期		
	2Q実績	2Q実績	前年同期比	計画
売上高	24,447	24,538	100.4%	24,464
S E 部門	5,947	5,606	94.3%	5,280
H S 部門	5,495	5,884	107.1%	5,952
E S 部門	905	1,102	121.7%	1,145
環境資源開発部門	7,275	8,045	110.6%	7,956
エネルギー部門	5,804	5,041	86.9%	5,465
セグメント間の 内部売上高調整額	△ 980	△ 1,142	—	△ 1,334
営業利益	688	1,551	225.4%	988
S E 部門	55	298	539.4%	171
H S 部門	1,238	1,235	99.7%	1,260
E S 部門	128	137	106.8%	115
環境資源開発部門	708	1,655	233.5%	1,128
エネルギー部門	253	△ 30	—	142
配賦不能	△ 1,696	△ 1,744	—	△ 1,828



・2019/3期の「環境資源開発部門」「エネルギー部門」および「セグメント間の内部売上高調整額」は、2020/3期との比較のため組み替えて表示しております。

【参考】セグメント別売上高の推移

(単位：百万円)



・「セグメント間の内部売上高調整額」は環境資源開発の売上高から差し引いております。

2020年3月期 第2四半期 セグメント別実績【SE事業部門】

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	5,947		5,606		94.3%	5,280	
施工売上	5,564	93.6%	5,417	96.6%	97.4%	5,100	96.6%
卸販売	288	4.9%	121	2.2%	42.0%	120	2.3%
その他	94	1.6%	67	1.2%	71.3%	59	1.1%
売上原価	4,174	70.2%	3,655	65.2%	87.6%	3,296	62.4%
うち、材料費等	2,581	43.4%	2,127	38.0%	82.4%	1,963	37.2%
うち、労務費	523	8.8%	338	6.0%	64.7%	327	6.2%
売上総利益	1,772	29.8%	1,950	34.8%	110.0%	1,984	37.6%
販売費・一般管理費	1,717	28.9%	1,652	29.5%	96.2%	1,813	34.3%
うち、人件費	846	14.2%	885	15.8%	104.6%	972	18.4%
営業利益	55	0.9%	298	5.3%	539.4%	171	3.2%

太陽光市場の縮小幅は徐々に減少しつつありますが、F I T 価格の低下に対応した販売価格の見直し等の影響により「太陽光発電システム」が減収となりました。この結果、売上高は5,606百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

営業損益は、減収となったものの、H S 事業部門への人員の異動等による経費削減、及び材料原価の低減等が進んだことにより、298百万円の営業利益(前年同期比439.4%増)となりました。

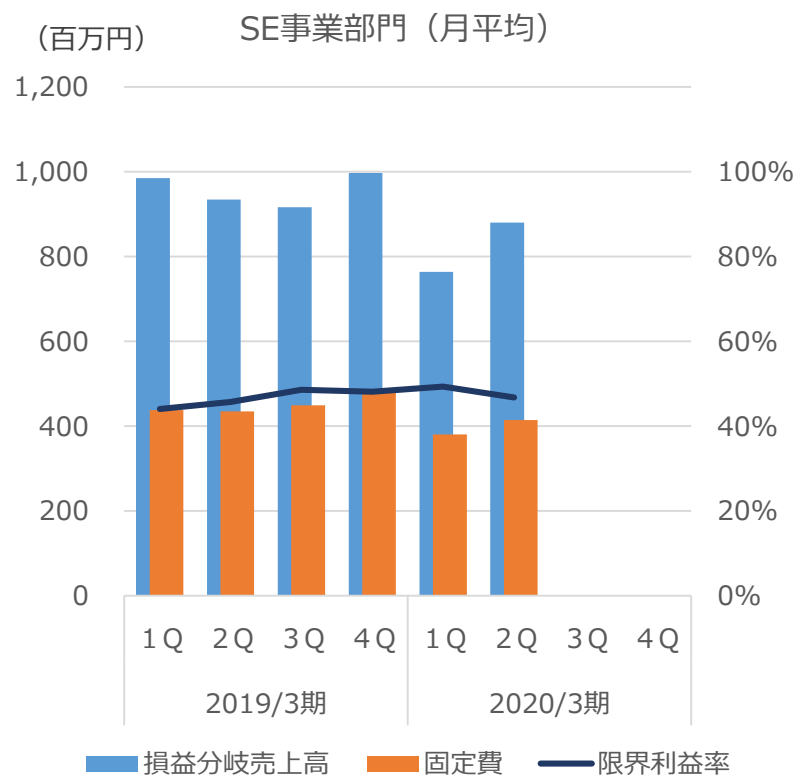
2020年3月期 第2四半期 セグメント別実績【HS事業部門】

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	5,495		5,884		107.1%	5,952	
白蟻防除施工	1,831	33.3%	1,991	33.8%	108.7%	2,080	34.9%
床下・天井裏換気システム	870	15.8%	1,187	20.2%	136.3%	922	15.5%
基礎補修・家屋補強工事	1,110	20.2%	969	16.5%	87.3%	1,178	19.8%
その他	1,681	30.6%	1,736	29.5%	103.2%	1,770	29.7%
売上原価	2,167	39.4%	2,278	38.7%	105.1%	2,387	40.1%
うち、労務費	665	12.1%	786	13.4%	118.1%	780	13.1%
売上総利益	3,327	60.6%	3,606	61.3%	108.4%	3,565	59.9%
販売費・一般管理費	2,089	38.0%	2,371	40.3%	113.5%	2,305	38.7%
うち、人件費	1,286	23.4%	1,455	24.7%	113.2%	1,365	22.9%
営業利益	1,238	22.5%	1,235	21.0%	99.7%	1,260	21.2%

HS事業部門の事業規模拡大を目的に、異動及び採用により人員増を図り、一般家屋に係るメンテナンスについて提案をきめ細かく行えるよう営業及び施工体制を強化してまいりました。「白蟻防除施工」が前年同期比8.7%増、「床下・天井裏換気システム」が同36.3%増となり、この結果、売上高は5,884百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

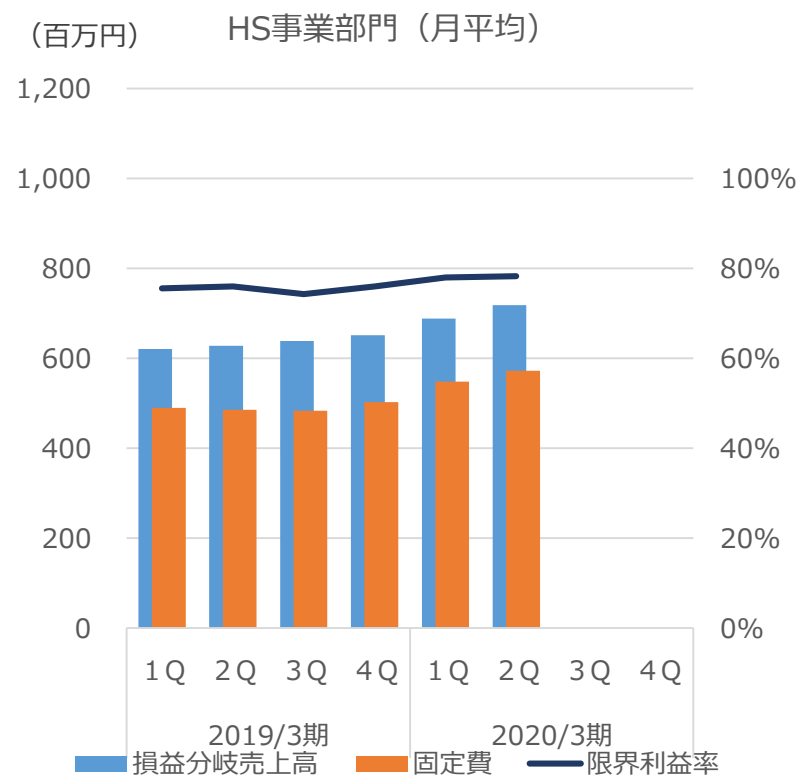
営業損益は、人員増による人件費等のコスト増加分を増収分で吸収し、1,235百万円の営業利益（前年同期比0.3%減）となりました。



S E 事業部門の2019/3期の第4四半期は、材料費に棚卸資産評価損として152百万円を計上しているが、上記計算では影響を除いている。

S E 事業部門は、第1四半期に比べると固定費が増え損益分岐売上高が上昇しましたが、前期に比べると引き続き改善傾向にあります。

H S 事業部門は、高い限界利益率を背景に人員増加を図りさらなる成長を目指していきます。



2020年3月期 第2四半期 セグメント別実績【ES事業部門】

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	905		1,102		121.7%	1,145	
売上原価	433	47.9%	531	48.3%	122.7%	556	48.6%
うち、労務費	105	11.7%	125	11.4%	119.0%	122	10.7%
売上総利益	472	52.1%	570	51.7%	120.8%	589	51.4%
販売費・一般管理費	343	37.9%	432	39.3%	126.0%	474	41.4%
うち、人件費	204	22.6%	263	23.9%	128.6%	299	26.1%
営業利益	128	14.2%	137	12.5%	106.8%	115	10.0%

E S 事業部門の事業規模拡大を目的に、異動及び採用により人員増を図り、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係を強化してまいりました。主力商品である「防錆機器取付施工（商品名：ドールマンショック）」が前年同期比27.9%増となったほか、「建物防水塗装補修施工」が前年同期比79.8%増となりました。この結果、売上高は1,102百万円（前年同期比21.7%増）となりました。営業損益は、人員増により人件費等のコストが増加したものの、増収となったことを背景に、137百万円の営業利益（前年同期比6.8%増）となりました。

2020年3月期 第2四半期 セグメント別実績【環境資源開発事業部門】

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	7,275		8,045		110.6%	7,956	
プラスチック燃料	4,105	56.4%	4,703	58.5%	114.6%	4,510	56.7%
発電所売上	1,518	20.9%	1,644	20.4%	108.3%	1,922	24.2%
有機廃液処理	925	12.7%	962	12.0%	104.0%	929	11.7%
埋立処理	377	5.2%	470	5.8%	124.8%	303	3.8%
その他	349	4.8%	264	3.3%	75.8%	291	3.7%
売上原価	5,688	78.2%	5,456	67.8%	95.9%	5,904	74.2%
うち、労務費	797	11.0%	889	11.1%	111.6%	898	11.3%
売上総利益	1,587	21.8%	2,589	32.2%	163.1%	2,052	25.8%
販売費・一般管理費	878	12.1%	934	11.6%	106.3%	924	11.6%
うち、人件費	439	6.0%	517	6.4%	117.9%	499	6.3%
営業利益	708	9.7%	1,655	20.6%	233.5%	1,128	14.2%

廃プラスチック類の受入量が減少しましたが受入物件の精査により、「プラスチック燃料」が前年同期比14.6%増となりました。この結果、売上高は8,045百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

営業損益は、廃プラスチック類及び有機廃液処理における受入物件の精査のほか、コスト精査による原価低減等により、1,655百万円の営業利益（前年同期比133.5%増）となりました。

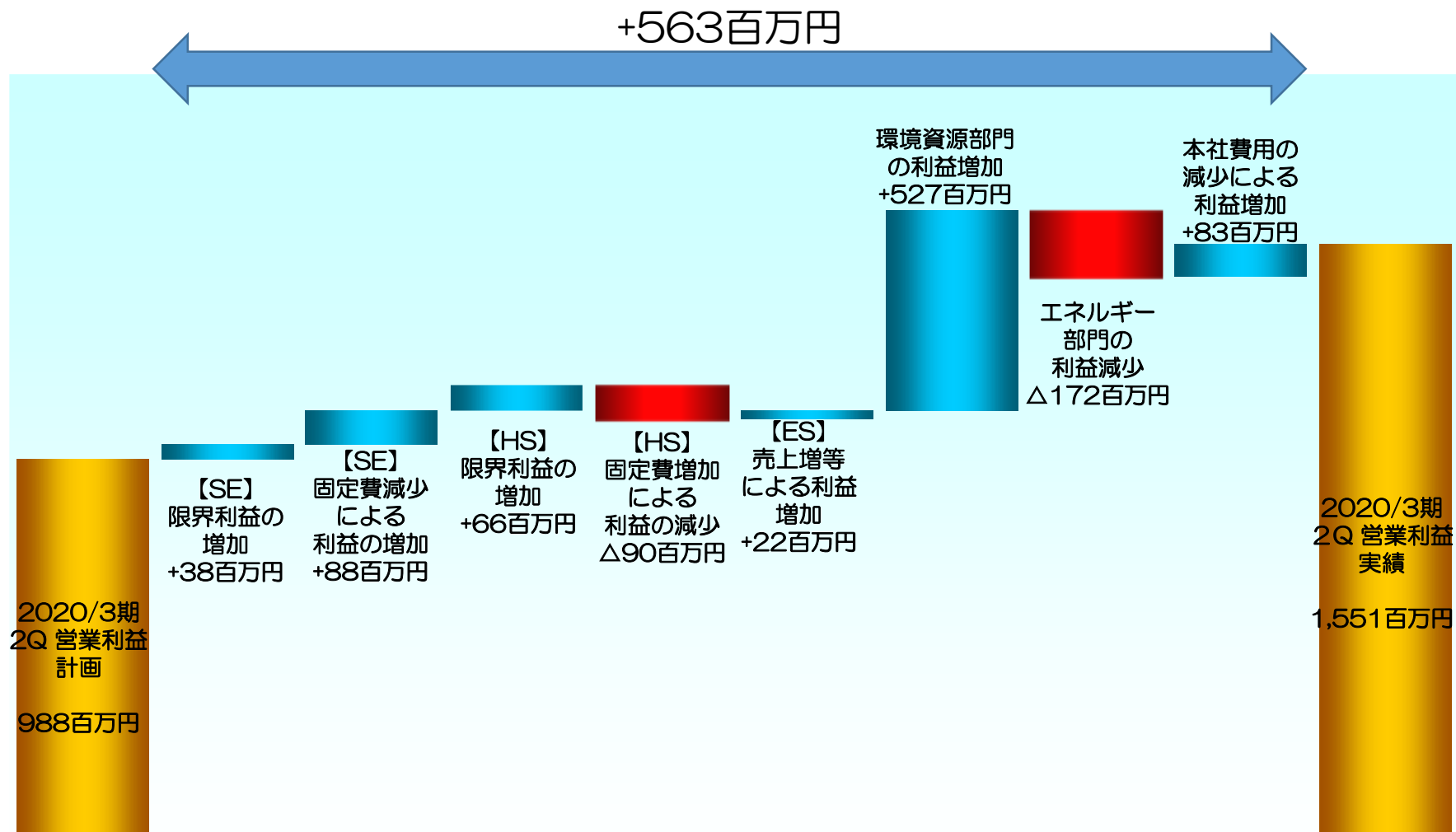
2020年3月期 第2四半期 セグメント別実績【エネルギー事業部門】

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	5,804		5,041		86.9%	5,465	
売上原価	5,461	94.1%	4,895	97.1%	89.6%	5,096	93.2%
うち、材料費	5,072	87.4%	4,692	93.1%	92.5%	4,852	88.8%
売上総利益	342	5.9%	146	2.9%	42.7%	369	6.8%
販売費・一般管理費	89	1.5%	177	3.5%	197.3%	227	4.2%
うち、人件費	49	0.8%	97	1.9%	198.0%	128	2.4%
営業利益	253	4.4%	△ 30	—	—	142	2.6%

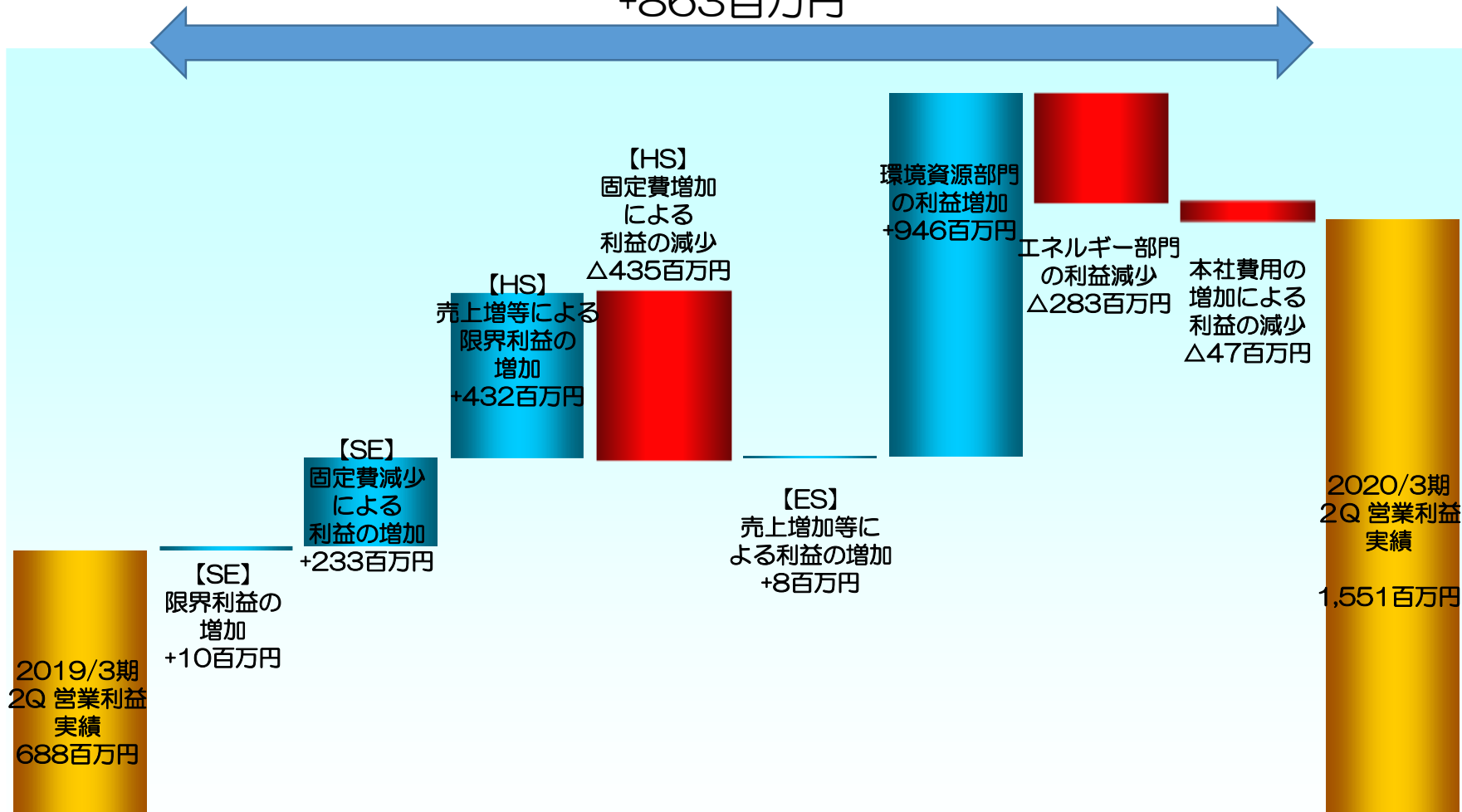
高圧契約件数が減少したこと等から電力小売量が減少したため、売上高は5,041百万円（前年同期比13.1%減）となりました。
営業損益は、売上高の減少による影響が大きく、30百万円の営業損失（前年同期は253百万円の営業利益）となりました。

営業利益 増減理由 (第2四半期_計画対実績)



営業利益 増減理由 (第2四半期_前期対今期)

+863百万円



2020年3月期 通期業績見通し

2020年3月期 通期連結業績見通し

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期			
	実績	前期差異	修正計画	前期差異	期初計画	期初計画差異
売上高	50,719	+ 726	50,131	△ 588	50,900	△ 768
売上総利益 (売上高売上総利益率)	14,830 29.2%	+ 785	17,305 34.5%	+ 2,474	17,210 33.8%	+ 95
営業利益 (売上高営業利益率)	1,224 2.4%	△ 21	2,248 4.5%	+ 1,023	1,910 3.8%	+ 338
経常利益 (売上高経常利益率)	1,182 2.3%	+ 163	2,079 4.1%	+ 896	1,810 3.6%	+ 269
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高当期純利益率)	240 0.5%	△ 939	1,579 3.2%	+ 1,339	1,370 2.7%	+ 209

2020年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、修正いたしました。

売上高につきましては、エネルギー事業本部の契約件数減少の状況を踏まえ、減収となる見込みです。

利益につきましては、エネルギー事業部門の売上高減少の影響のほか、今後の固定費等の増加を見込み、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益を修正いたしました。

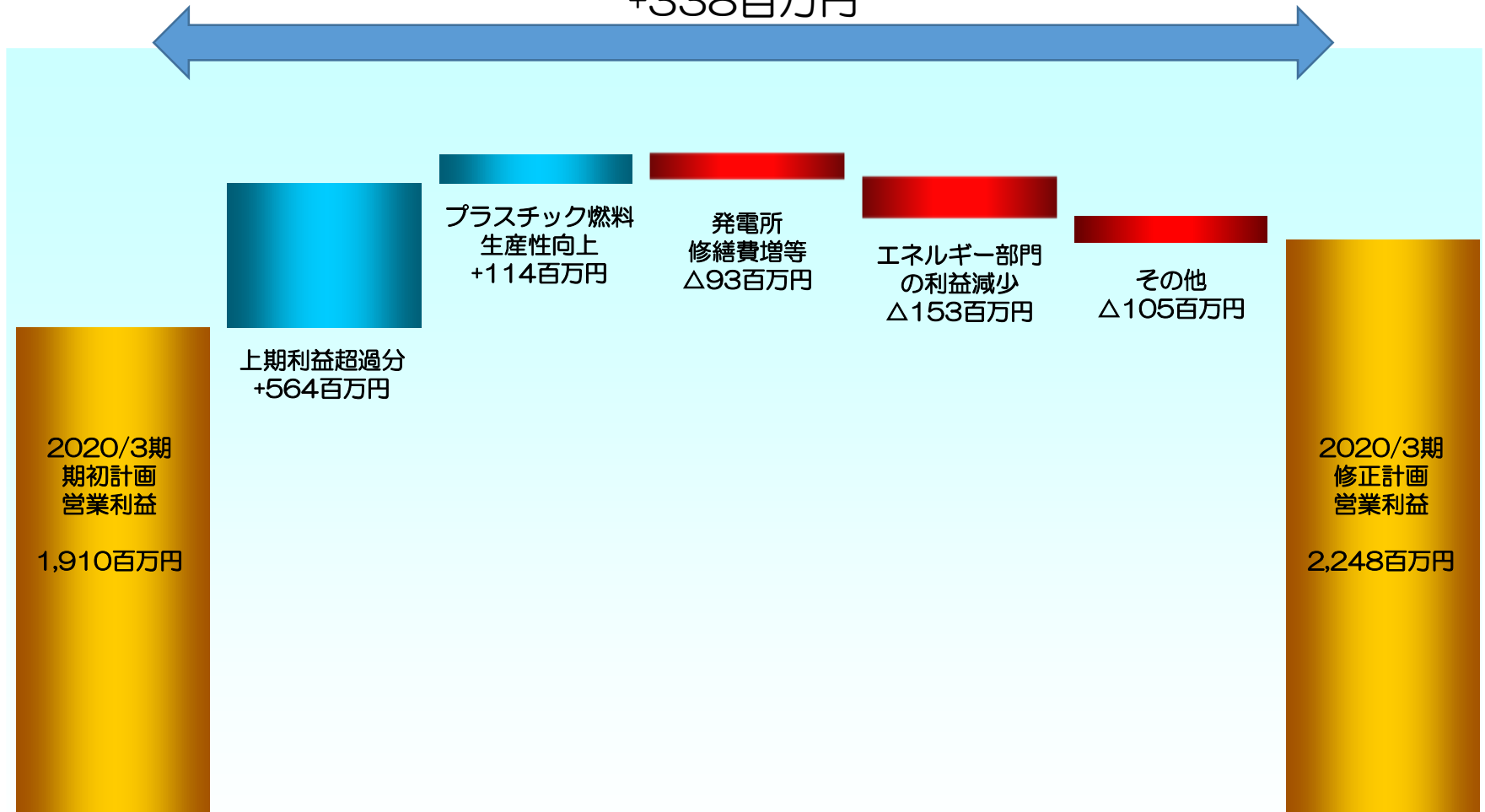
【参考】 セグメント別業績進捗状況

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期			
	通期実績	修正計画	前期差異	期初計画	期初計画差異
売 上 高	50,719	50,131	△ 588	50,900	△ 768
S E 部 門	14,427	11,910	△ 2,517	11,584	+ 326
H S 部 門	10,752	11,592	+ 840	11,660	△ 67
E S 部 門	1,926	2,307	+ 380	2,350	△ 42
環 境 資 源 開 発 部 門	14,116	15,990	+ 1,874	15,775	+ 215
エ ネ ル ギ ー 部 門	10,609	10,584	△ 25	11,957	△ 1,373
セグメント間の 内部売上高調整額	△ 1,113	△ 2,253	△ 1,140	△ 2,426	+ 172
営 業 利 益	1,224	2,248	+ 1,023	1,910	+ 338
S E 部 門	1,204	892	△ 312	785	+ 107
H S 部 門	2,231	2,129	△ 102	2,189	△ 59
E S 部 門	287	279	△ 7	263	+ 16
環 境 資 源 開 発 部 門	423	2,322	+ 1,898	1,791	+ 531
エ ネ ル ギ ー 部 門	412	133	△ 279	462	△ 328
配 賦 不 能	△ 3,335	△ 3,508	△ 173	△ 3,580	+ 71

・2019/3期の「環境資源開発部門」「エネルギー部門」および「セグメント間の内部売上高調整額」は、2020/3期との比較のため組み替えて表示しております。

+338百万円



2020年3月期 セグメント別見通し【SE事業部門】

(単位：百万円)

	上半期			下半期			通期		
	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高	5,606		△ 340	6,304		△ 2,176	11,910		△ 2,517
施工売上	5,417	96.6%	△ 146	6,150	97.6%	△ 1,946	11,567	97.1%	△ 2,093
卸販売	121	2.2%	△ 167	120	1.9%	△ 169	241	2.0%	△ 336
その他	67	1.2%	△ 27	33	0.5%	△ 59	101	0.8%	△ 87
売上原価	3,655	65.2%	△ 518	3,794	60.2%	△ 1,771	7,449	62.6%	△ 2,290
うち、材料費等	2,127	38.0%	△ 453	2,480	39.4%	△ 915	4,608	38.7%	△ 1,369
うち、労務費	338	6.0%	△ 184	297	4.7%	△ 198	635	5.3%	△ 383
売上総利益	1,950	34.8%	+ 177	2,509	39.8%	△ 404	4,460	37.4%	△ 227
販売費・一般管理費	1,652	29.5%	△ 65	1,915	30.4%	+ 150	3,567	30.0%	+ 85
うち、人件費	885	15.8%	+ 38	1,069	17.0%	+ 192	1,955	16.4%	+ 230
営業利益	298	5.3%	+ 243	593	9.4%	△ 555	892	7.5%	△ 312

SE事業部門は、FIT価格低下（2019年度は14円/kWh）に対応するべくシステム販売価格を見直すため減収を見込みますが、付帯設備等に係るメンテナンス業務や、土地付き太陽光の販売に注力してまいります。

利益については、人員配置見直しによる人件費やその他固定費の低減に加え、部材等のコストダウンも進めてまいります。減収の影響が大きく減益となる見込みであります。

2020年3月期 セグメント別見通し【HS事業部門】

(単位：百万円)

	上半期			下半期			通期		
	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売 上 高	5,884		+ 389	5,708		+ 450	11,592		+ 840
白 蟻 防 除 施 工	1,991	33.8%	+ 160	1,716	30.1%	+ 105	3,707	32.0%	+ 266
床下換気・天井裏換気システム	1,187	20.2%	+ 316	1,035	18.1%	+ 107	2,223	19.2%	+ 423
基礎補修・家屋補強工事	969	16.5%	△ 141	1,225	21.5%	+ 209	2,195	18.9%	+ 68
そ の 他	1,736	29.5%	+ 54	1,730	30.3%	+ 27	3,466	29.9%	+ 82
売 上 原 価	2,278	38.7%	+ 111	2,421	42.4%	+ 208	4,700	40.5%	+ 319
うち、労務費	786	13.4%	+ 120	858	15.0%	+ 151	1,645	14.2%	+ 272
売 上 総 利 益	3,606	61.3%	+ 278	3,286	57.6%	+ 242	6,892	59.5%	+ 520
販 売 費 ・ 一 般 管 理 費	2,371	40.3%	+ 282	2,391	41.9%	+ 340	4,763	41.1%	+ 623
うち、人件費	1,455	24.7%	+ 169	1,542	27.0%	+ 288	2,998	25.9%	+ 458
営 業 利 益	1,235	21.0%	△ 3	894	15.7%	△ 98	2,129	18.4%	△ 102

HS事業部門は、新規開拓、既存顧客のアフター体制をより一層拡充することで、事業基盤を強化してまいります。そのため、採用等による人員増や、店舗出店を行い、新規及び顧客件数の増加を図ってまいります。

利益については、増員分については戦力化するまでの育成期間は費用が先行すること等から減益となる見込みです。

2020年3月期 セグメント別見通し【ES事業部門】

(単位：百万円)

	上半期			下半期			通期		
	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高	1,102		+ 196	1,205		+ 183	2,307		+ 380
売上原価	531	48.3%	+ 98	578	48.0%	+ 78	1,110	48.1%	+ 176
うち、労務費	125	11.4%	+ 20	128	10.7%	+ 18	254	11.0%	+ 38
売上総利益	570	51.7%	+ 98	626	52.0%	+ 105	1,196	51.9%	+ 203
販売費・一般管理費	432	39.3%	+ 89	484	40.2%	+ 121	917	39.8%	+ 211
うち、人件費	263	23.9%	+ 58	329	27.4%	+ 115	593	25.7%	+ 174
営業利益	137	12.5%	+ 8	141	11.8%	△ 16	279	12.1%	△ 7

ES事業部門は、管理会社などの提携先開拓、既提携先の密なフォローによる紹介や、不動産オーナーとの直接商談の機会を増やし、主力商品である「防錆機器取付施工（ドールマンショック）」の販路を拡大してまいります。

利益については、増員分については戦力化するまでの育成期間は費用が先行すること等から、若干の減益となる見込みであります。

2020年3月期 セグメント別見通し【環境資源開発事業部門】

(単位：百万円)

	上半期			下半期			通期		
	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売 上 高	8,045		+ 770	7,945		+ 1,104	15,990		+ 1,874
プラスチック燃料	4,703	58.5%	+ 598	4,686	59.0%	+ 176	9,389	58.7%	+ 774
発電所売上	1,644	20.4%	+ 125	1,751	22.0%	+ 1,163	3,396	21.2%	+ 1,289
有機廃液処理	962	12.0%	+ 37	977	12.3%	△ 56	1,939	12.1%	△ 18
埋立処理	470	5.8%	+ 93	255	3.2%	△ 156	725	4.5%	△ 63
その他	264	3.3%	△ 84	275	3.5%	△ 22	539	3.4%	△ 106
売 上 原 価	5,456	67.8%	△ 231	6,336	79.8%	+ 69	11,793	73.7%	△ 162
うち、労務費	889	11.1%	+ 92	942	11.9%	+ 108	1,832	11.5%	+ 201
売 上 総 利 益	2,589	32.2%	+ 1,001	1,608	20.2%	+ 1,035	4,197	26.3%	+ 2,036
販売費・一般管理費	934	11.6%	+ 55	941	11.8%	+ 83	1,875	11.7%	+ 138
うち、人件費	517	6.4%	+ 78	512	6.4%	+ 53	1,030	6.4%	+ 131
営 業 利 益	1,655	20.6%	+ 946	668	8.4%	+ 952	2,322	14.5%	+ 1,898

環境資源開発事業は、プラスチック燃料の品質を高めるため受入物件の精査を進め、利益率及び効率性を改善してまいります。また、前期9月から3月まで停止していた苫小牧発電所が稼働するため増収となります。一方で、第3四半期に苫小牧発電所において定期点検（およそ1カ月）を予定しており稼働を停止いたします。

利益については、受入物件精査による生産性向上の効果を反映する一方、修繕費、及び最終処分費用等コストの増加も含め見直しています。

2020年3月期 セグメント別見通し【エネルギー事業部門】

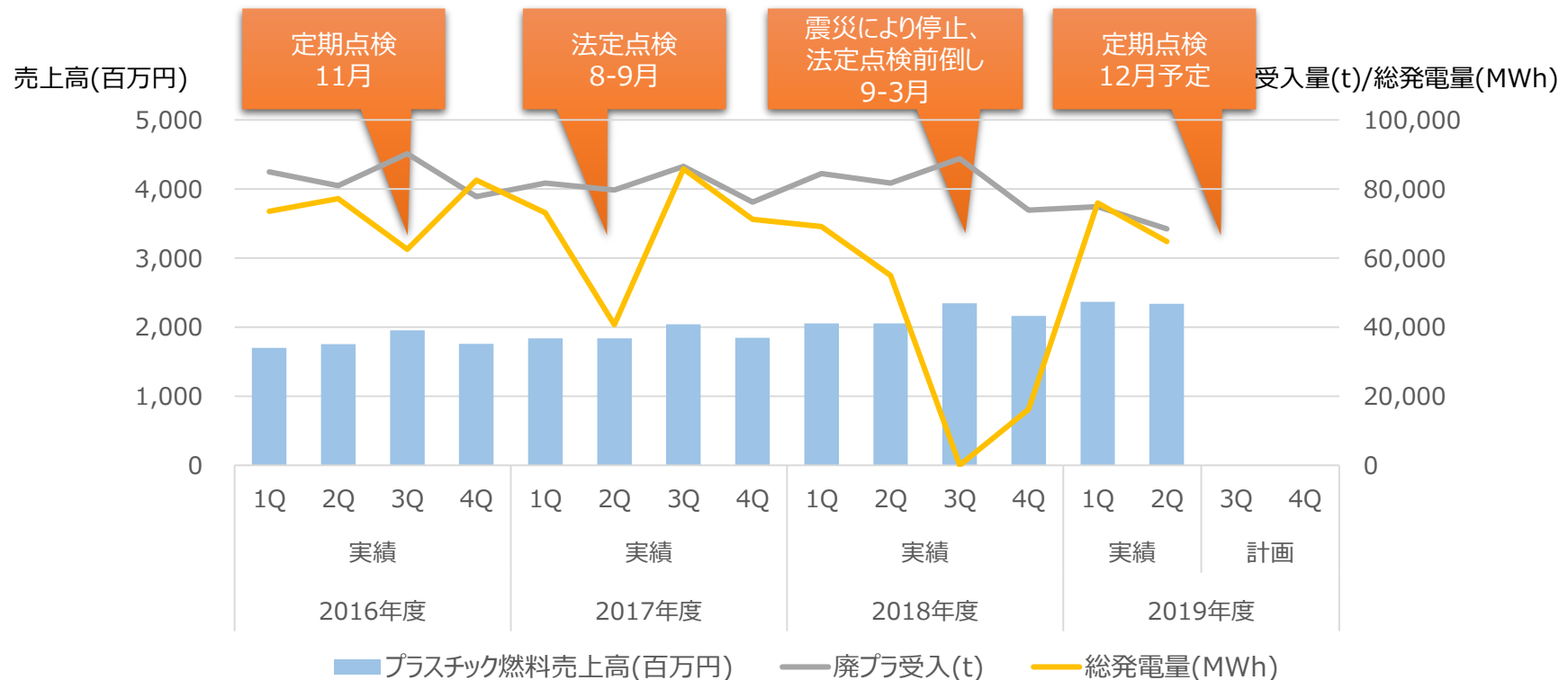
(単位：百万円)

	上半期			下半期			通期		
	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高	5,041		△ 762	5,542		+ 736	10,584		△ 25
売上原価	4,895	97.1%	△ 566	5,131	92.6%	+ 599	10,026	94.7%	+ 33
うち、材料費	4,692	93.1%	△ 379	4,864	87.8%	+ 611	9,557	90.3%	+ 231
売上総利益	146	2.9%	△ 196	410	7.4%	+ 136	557	5.3%	△ 59
販売費・一般管理費	177	3.5%	+ 87	246	4.5%	+ 132	423	4.0%	+ 219
うち、人件費	97	1.9%	+ 48	127	2.3%	+ 68	224	2.1%	+ 116
営業利益	△ 30	—	△ 283	163	3.0%	+ 4	133	1.3%	△ 279

エネルギー事業は、前期の下半期に停止していた苫小牧発電所が稼働するため、電力販売量が前期に対して増加します。一方で、新電力事業の契約件数が期初計画を下回った他、市場卸価格の低下などにより第2四半期連結累計期間において減収減益となったことを反映し、下期計画を修正いたしました。また、利益については、期初計画から売上高を落とした影響により減益となっております。

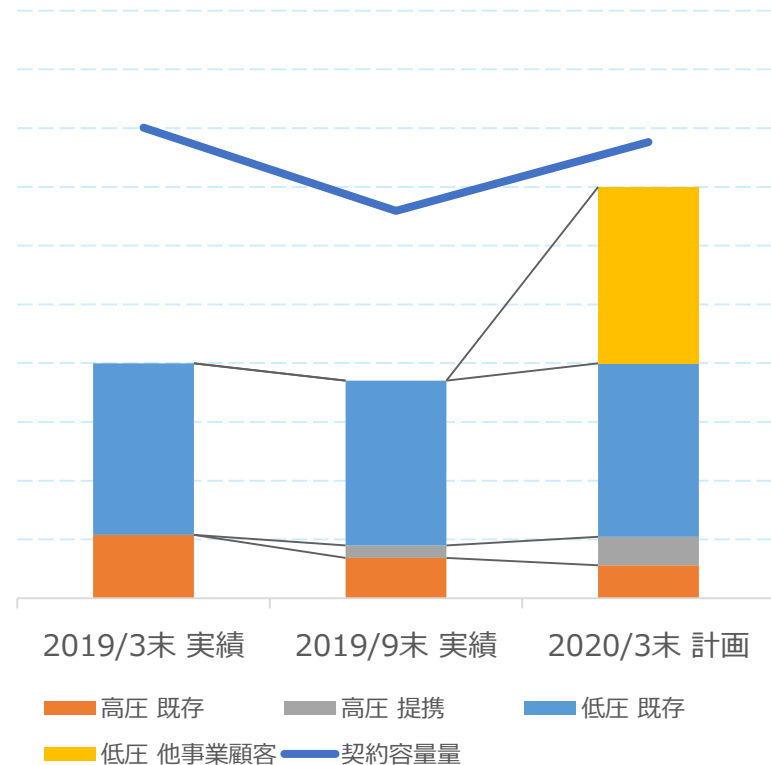
【修正計画】 環境資源開発事業部門の状況

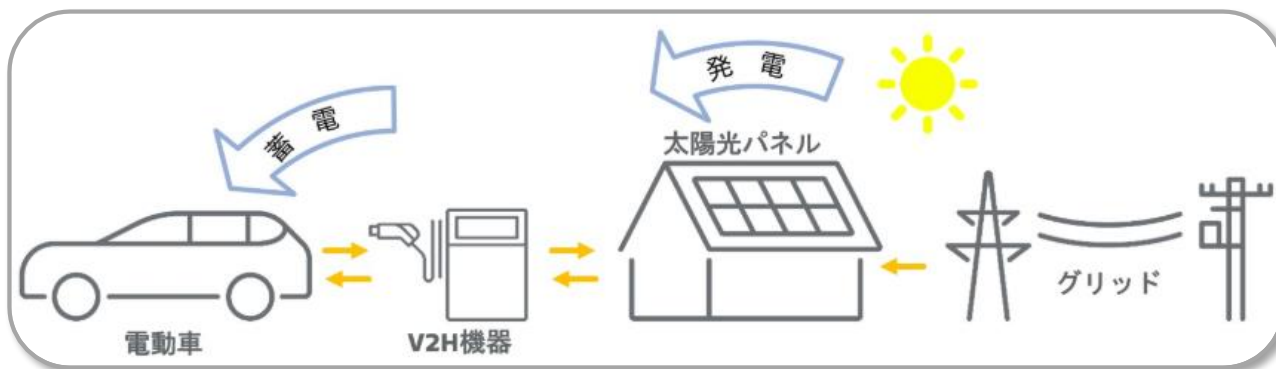
- 廃プラスチックは受入物件の精査を行うことで、燃料に適したプラスチックの収集が可能となり、燃料品質の向上につながっている。
- 苫小牧発電所は、定期的に点検・修繕を行っており、その間稼働を止めている。
 - 法定点検を2年に1回実施（タービン：4年ごと、ボイラー：2年ごと）
 - 自主的な定期点検を毎年実施



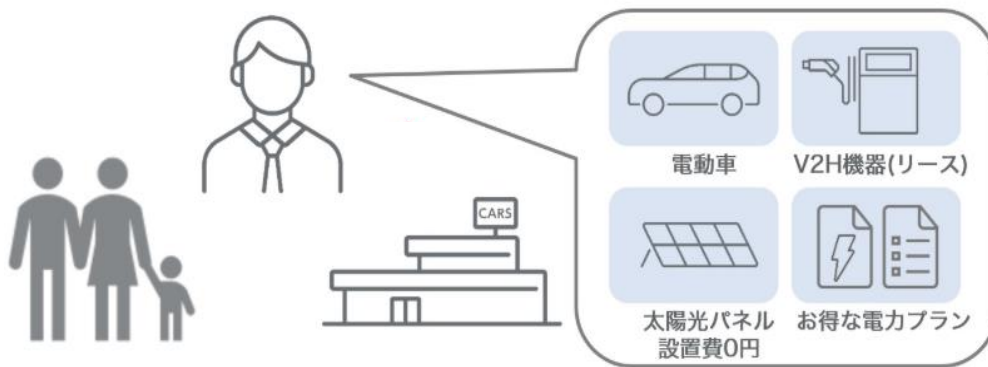
- 新電力事業は、低圧家庭用顧客に集中し契約件数増加を図る
 - 低圧は、当社が持つ他の事業の顧客基盤を活かした営業を行う
 - 高圧は、他の電力事業者との提携により顧客件数を拡大する
- 今期中に契約件数の拡大を図り、来期以降の業績の基礎としていく。

契約件数・契約容量





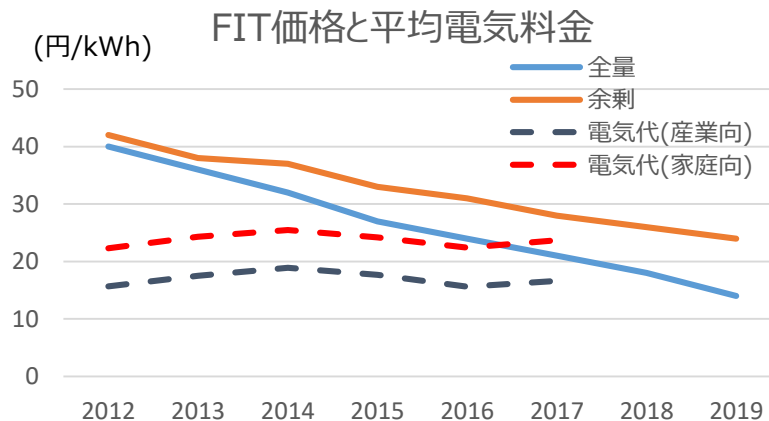
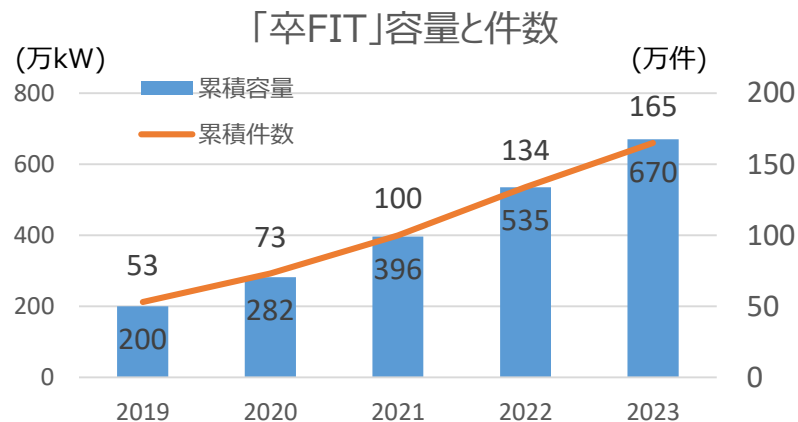
- 太陽光電力を家庭や電動車に使用することで、日々の燃料代・電気代の節約や低炭素社会の実現に貢献。
- 停電時にも、太陽光パネルで発電した電力や、電動車に充電された電力をご家庭へ供給。
- ご提供する電力プランは、太陽光パネルの設置費用を0円とする専用料金プラン。
- 三菱自動車の販売店にて必要なシステムとサービスをワンパッケージ化し、ワンストップでご提供。



※ 東日本三菱自動車販売の世田谷店で、トライアル販売を開始

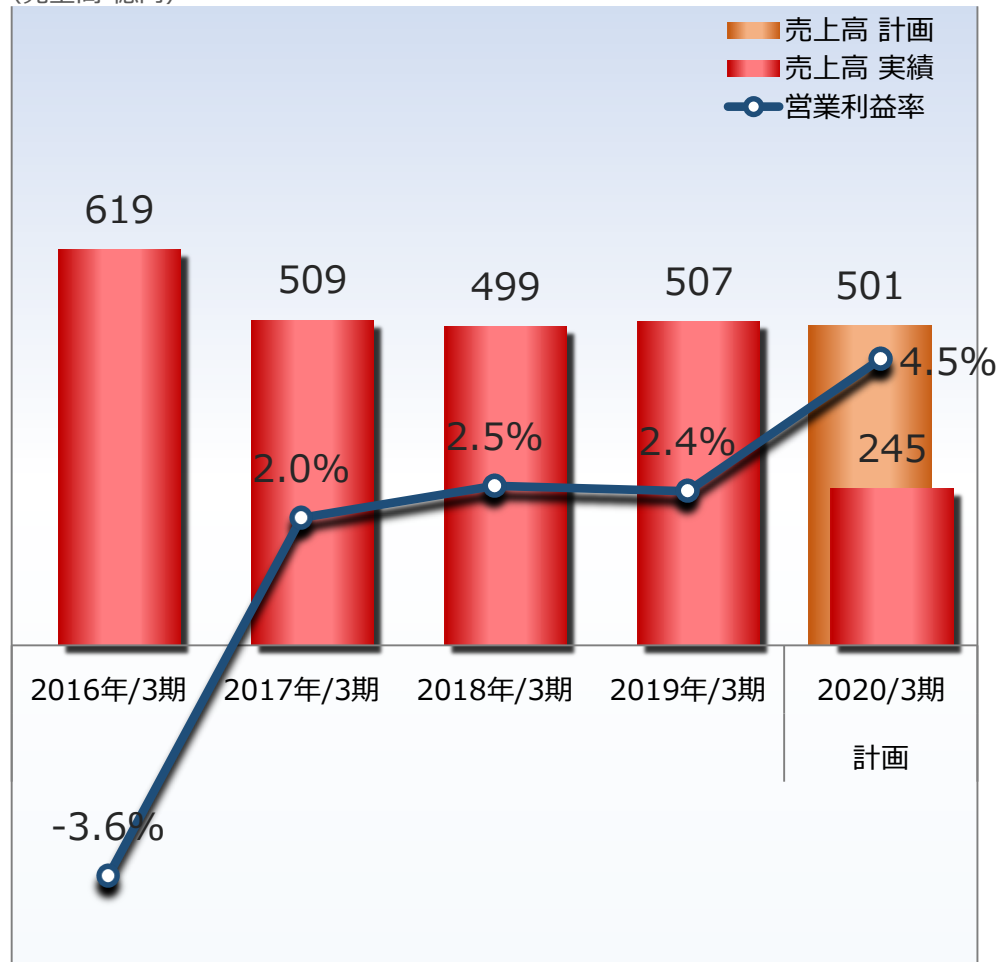
関係企業（役割）	
○ 東日本三菱自動車販売	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電動車両の販売 ・ 「電動DRIVE HOUSE」の申込窓口 ・ V2H機器のリース案内窓口
○ サニックス (サニックス太陽光でんき)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光パネルの調達、設置、メンテナンス ・ 専用電力プランの提供

- 住宅用太陽光発電のFIT開始から10年が経ち、買取期間が過ぎた「卒FIT」発電所が約53万件発生することで、自家消費のニーズが顕在化
- FIT価格が購入する電気代と同等の価格となり、「電気を売るメリット」ではなく、「電気を買わないメリット」について提案する機会が増加すると予測
- 「いいものを、より安く」とのコンセプトで、広く普及させ、環境負荷の低いエネルギーが当たり前となる時代を築く第一歩としたい。



資源エネルギー庁HP『日本のエネルギー2018「エネルギーの今を知る10の質問」』より当社で加工

(売上高 億円)



2020年3月期見通し

売上高 : 50,131百万円

営業利益 : 2,248百万円

営業利益率 : 4.5%